

数 学 II

1. 学習の到達目標

基礎基本を確実に定着させ、大学入試問題などの高いレベルの問題にもそれらを正確に活用・表現することを通じて、課題の解決に際し数学的論拠に基づいて思考・判断し、自らの考えを表現・検証できる能力を育てる。

2. 使用教科書：新編数学II（実教出版）

3. 指導計画

学習時期			単元／学習事項	学習のねらい
	文系	理系		
1 年	12月	12月	式と証明 1.3次式の展開と因数分解 2.2項定理 (a+b+c) ⁿ 乗の展開式 3.整式の割り算 4.分数式とその計算 5.恒等式 6.等式の証明 7.不等式の証明	3次式の因数分解の公式を利用することができる。 2項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 恒等式と方程式の違いを理解している。 与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 実数の大小関係の基本性質に基づいて、自明な不等式を証明することができる。
	1月	1月		
	2月	2月		
	3月	3月		
	3月	3月		

4. 評価規準と方法

【評価規準】

- 積極的に学習に参加し、学習内容を理解しようとしている。
- 定義の意味やその特性および公式の性質を理解している。
- 定理や公式を活用し、いくつかの側面から問題を捉え、解法に結びつけることができる。
- 的確な表現を用い、説明できる。

【評価方法】

定期考査、確認テスト、提出課題および提出状況、学習活動への取り組み方